

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成31年2月7日(2019.2.7)

【公表番号】特表2017-538744(P2017-538744A)

【公表日】平成29年12月28日(2017.12.28)

【年通号数】公開・登録公報2017-050

【出願番号】特願2017-532869(P2017-532869)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/81 (2006.01)

A 6 1 K 8/90 (2006.01)

A 6 1 K 8/25 (2006.01)

A 6 1 Q 19/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 8/81

A 6 1 K 8/90

A 6 1 K 8/25

A 6 1 Q 19/00

【手続補正書】

【提出日】平成30年12月17日(2018.12.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

- a. スチレンと、2～5個の炭素原子を含有し、1つ又は2つのエチレン性不飽和を含む炭化水素のモノマーとの、約0 未満の第1の T_g 及び約25 超の第2の T_g を有する、非晶質炭化水素ブロックコポリマーから選択される少なくとも1種の熱可塑性エラストマー、
- b. 非水性分散体中で安定化された、 $C_1 \sim C_4$ アルキル(メタクリレート)ポリマーのポリマー粒子から選択される少なくとも1種の接着性膜形成ポリマー、及び
- c. 少なくとも1種のフィラー
- を含む、皮膚引き締め組成物。

【請求項2】

- 前記少なくとも1種の熱可塑性エラストマーが、
- スチレン-エチレン/プロピレンコポリマー、スチレン-エチレン/ブタジエンコポリマー、スチレン-エチレン/ブチレンコポリマー、スチレン-ブタジエン、又はスチレン-イソプレンコポリマーから選択されるジブロックコポリマー、
 - スチレン-エチレン/プロピレン-スチレンコポリマー、スチレン-エチレン/ブタジエン-スチレンコポリマー、スチレン-イソプレン-スチレンのコポリマー、又はスチレン-ブタジエン-スチレンのコポリマーから選択されるトリブロックコポリマー、及び
 - これらの混合物

から選択される、請求項1に記載の皮膚引き締め組成物。

【請求項3】

前記少なくとも1種の接着性ポリマーが、油分散体中の、約80質量%～約100質量%の $C_1 \sim C_4$ アルキル(メタ)アクリレート及び約0質量%～約20質量%の $C_1 \sim C_4$ アルキル(メタクリレート)ポリマーのエチレン性不飽和酸モノマーを含むポリマー粒子から選択される、請求項1に記載の皮膚引き締め組成物。

【請求項 4】

前記ポリマー粒子が、

- 1種又は複数の $C_1 \sim C_4$ アルキル(メタクリレート)ポリマーからなるポリマー、及び
- $C_1 \sim C_4$ (メタ)アクリレートと(メタ)アクリル酸又は無水マレイン酸とのコポリマーから本質的になるポリマー

から選択される、請求項 3 に記載の皮膚引き締め組成物。

【請求項 5】

前記 $C_1 \sim C_4$ アルキル(メタクリレート)ポリマーが、メチル(メタ)アクリレート、エチル(メタ)アクリレート、*n*-プロピル(メタ)アクリレート、イソプロピル(メタ)アクリレート、*n*-ブチル(メタ)アクリレート及び*tert*-ブチル(メタ)アクリレートポリマーから選択される、請求項 4 に記載の皮膚引き締め組成物。

【請求項 6】

前記油がイソドデカンである、請求項 3 に記載の皮膚引き締め組成物。

【請求項 7】

前記少なくとも1種のフィラーが、約100nm超の粒径及び/又は約200m²/g超の比表面積を有するフィラーから選択される、請求項 1 に記載の皮膚引き締め組成物。

【請求項 8】

前記少なくとも1種のフィラーが、シリカ粒子から選択される、請求項 1 に記載の皮膚引き締め組成物。

【請求項 9】

前記少なくとも1種のフィラーが、任意選択によりトリメチルシリル基で表面修飾されていてもよい、疎水性シリカエアロゲル粒子から選択される、請求項 8 に記載の皮膚引き締め組成物。

【請求項 10】

任意選択により揮発性炭化水素系油及び揮発性シリコン油から選択されてもよい、室温(25)で約1000Pa超の蒸気圧を有する溶媒から選択される少なくとも1種の溶媒を更に含む、請求項 1 に記載の皮膚引き締め組成物。

【請求項 11】

前記少なくとも1種の溶媒が、分枝状 $C_8 \sim C_{16}$ アルカン、 $C_8 \sim C_{16}$ イソアルカン、イソドデカン、イソデカン、イソヘキサデカン、オクタメチルテトラシロキサン、デカメチルシクロペンタシロキサン、ドデカメチルシクロヘキサシロキサン、ヘプタメチルオクチルトリシロキサン、ヘキサメチルジシロキサン、デカメチルテトラシロキサン、ドデカメチルペンタシロキサン、及びこれらの混合物から選択される、請求項 10 に記載の皮膚引き締め組成物。

【請求項 12】

シリコンエラストマー、湿潤剤、水、及び着色料から選択される少なくとも1種の追加の成分を更に含む、請求項 1 に記載の皮膚引き締め組成物。

【請求項 13】

前記少なくとも1種の熱可塑性エラストマー、少なくとも1種の接着性ポリマー、及び少なくとも1種のフィラーが、組成物の質量に対して、合わせて約10質量%超、好ましくは約15質量%超、最も好ましくは約20質量%超の量で存在する、請求項 1 に記載の皮膚引き締め組成物。

【請求項 14】

熱可塑性エラストマー：接着性ポリマーの比が、約1：10～10：1、好ましくは約1：5～5：1、最も好ましくは約1：1～8：1の範囲である、請求項 1 に記載の皮膚引き締め組成物。

【請求項 15】

前記組成物が、約100Pa超(10%歪みで)の粘稠度 G^* 及び約45°未満の位相角を有する、請求項 1 に記載の皮膚引き締め組成物。

【請求項 16】

約500kPa超のヤング率を有する、請求項 1 から 1 5 のいずれか一項に記載の組成物から形成される皮膚引き締め膜。

【請求項 1 7】

ヤング率が約1000kPa超である、請求項 1 6 に記載の皮膚引き締め膜。

【請求項 1 8】

皮膚の外観を改善するための方法であって、請求項 1 から 1 5 のいずれか一項に記載の組成物を皮膚に適用することによって、前記皮膚上に膜を形成する工程を含み、前記皮膚上に形成された前記膜のヤング率が、約500kPa超である、方法。

【請求項 1 9】

前記膜のヤング率が約1000kPa超である、請求項 1 8 に記載の方法。